

共立印刷株式会社

(コード番号 7838)

第27期(平成19年3月期)中間決算説明

平成18年11月

KYORITSU PRINTING

会社名 共立印刷株式会社

(英訳名 KYORITSU PRINTING. , LTD)

事業内容 総合印刷事業

設立年月 昭和55年8月

資本金 17億7千6百万円(平成18年9月末時点)

代表者 野田 勝憲

従業員 424名(単体)／580名(連結)

本社 東京都板橋区清水町36番1号

工場	本庄第一工場	子会社	(株)インフォビジョン(印刷前工程)
	本庄第二工場		共立製本(株)(加工・製本)
	児玉工場		(株)ケーアンドエムプロセス(不動産賃貸及び管理)

支店 札幌営業所

名古屋営業所

大阪営業所

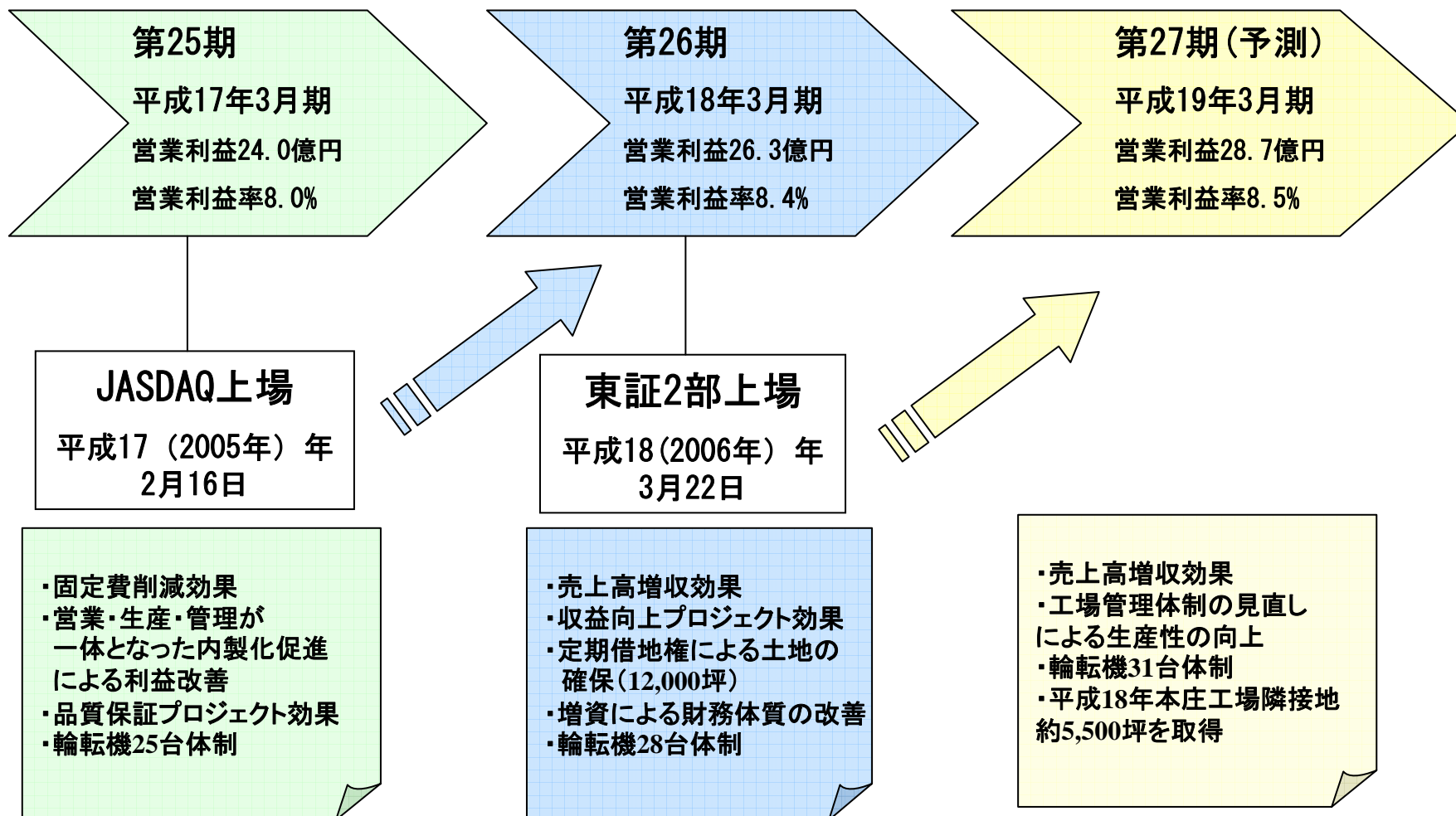
製・販一体体制の確立



高利益体質の確立



更なる飛躍へ



急激に変化する印刷業界

- ・印刷前工程のデジタル化
- ・印刷原稿のデジタル送信
- ・紙媒体から多様な電子媒体へ
- ・印刷受注価格の継続的な低下傾向
- ・印刷前工程、印刷、製本・加工の分業体制の崩壊

顧客主義をモットーに、お客様の立場に立つことを基本とし、お客様の満足を得る最良の製品を提供し、信頼される企業体を実現する。

基本戦略

- 高品質
 - コスト競争力
 - スピードある対応力
- を実現する管理体制と生産体制の整備

1.増収・増益の達成(前年同期比)

売上13.8%増、経常利益14.1%増

2.平成18年3月末:28台体制 → 11月末:31台体制

B版系列:13台

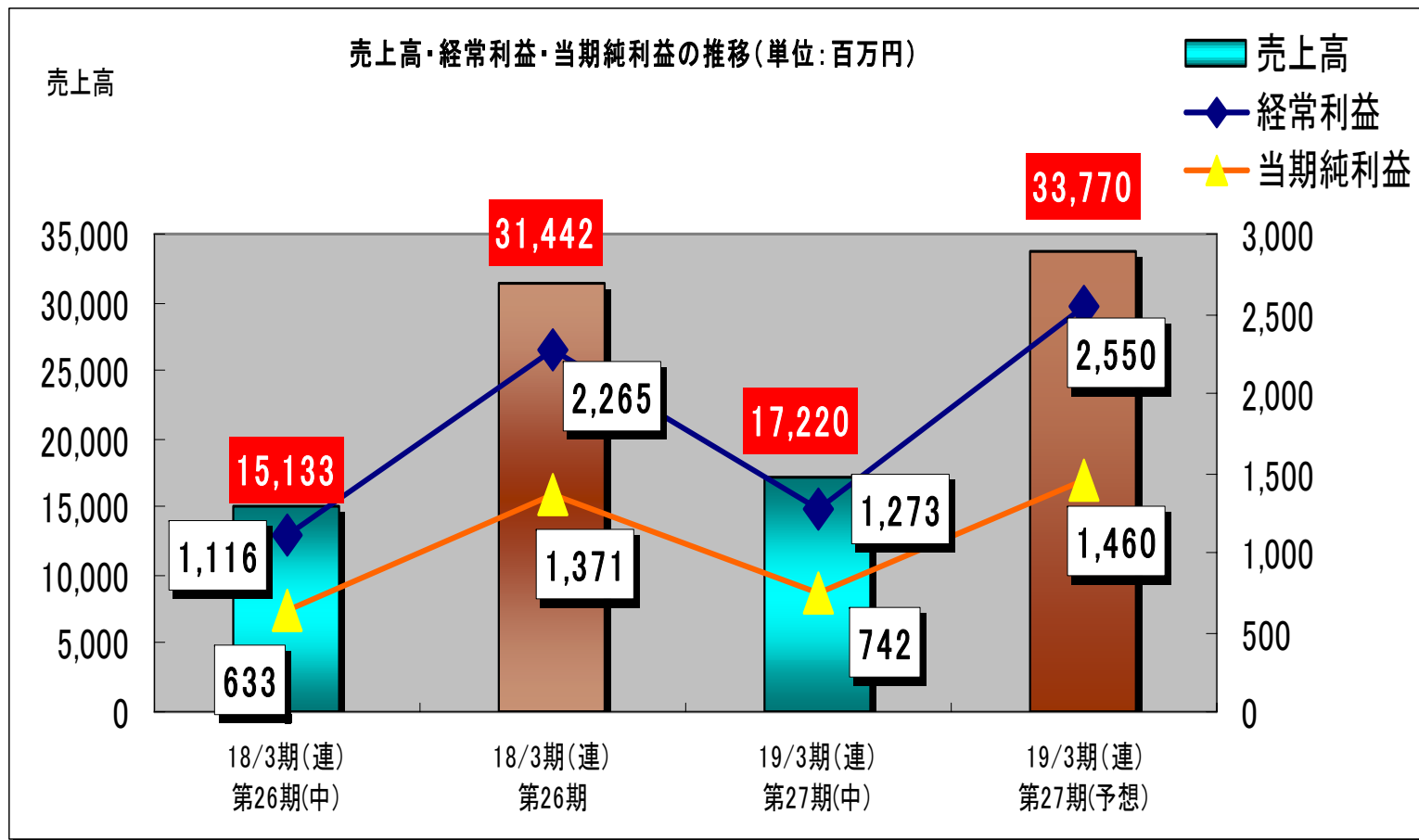
A版系列:18台

3.新規工場増設

平成18年2月に一部稼働済

4.有利子負債の削減(前年同期比)

107億円(平成18年9月末残):-16億円



業界全体が縮小傾向の中、大幅な収益改善を実現！

- ・売上高増収及び第2四半期よりの生産性向上効果により
前年同期比売上総利益1.1億円の増益
- ・有利子負債16億円削減により前年同期比経常利益0.4億円の増益効果

損益計算書

(単位:百万円)

	第25期 17/3月期		第26期 17/9月(中間)		第26期 18/3月期		第27期 18/9月(中間)		第27期 19/3月期(予想)	
売上高	30,107	100.0%	15,133	100.0%	31,442	100.0%	17,220	100.0%	33,770	100.0%
売上総利益	5,703	18.9%	2,988	19.7%	5,971	19.0%	3,102	18.0%	-	-
販管費	3,301	11.0%	1,668	11.0%	3,336	10.6%	1,669	9.7%	-	-
営業利益	2,401	8.0%	1,320	8.7%	2,634	8.4%	1,432	8.3%	2,870	8.5%
経常利益	1,970	6.5%	1,116	7.4%	2,265	7.2%	1,273	7.4%	2,550	7.6%
当期純利益	1,097	3.6%	633	4.2%	1,371	4.4%	742	4.3%	1,460	4.3%

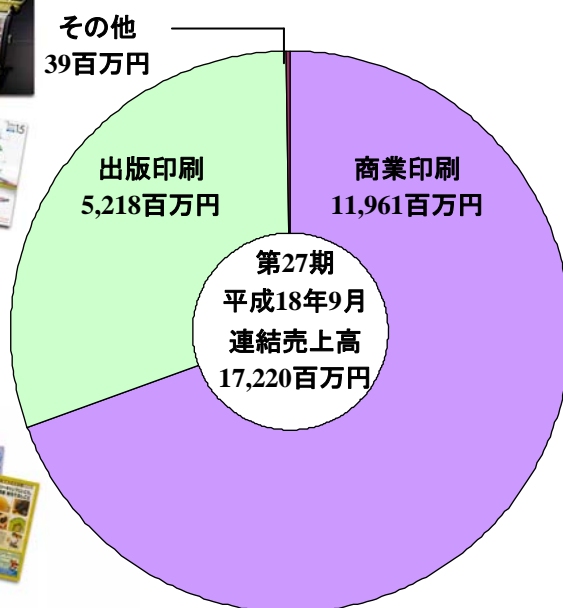
キャッシュフロー計算書

営業CF	1,950	-	1,626	-	2,791	-	1,176	-	-	-
投資CF	△ 241	-	△ 251	-	△ 765	-	△ 851	-	-	-
財務CF	△ 2,023	-	△ 294	-	△ 1,875	-	△ 1,389	-	-	-
期首現金等残	6,023	-	5,709	-	5,709	-	5,859	-	-	-
期末現金等残	5,709	-	6,790	-	5,859	-	4,795	-	-	-

主要生産品目

商業印刷
折込チラシ、通販カタログ、
各種パンフレット、POPや店舗装飾品

(単位:百万円)



	第27期 (18年9月)	構成 比	第26期 (17年9月)	構成 比	前年 比
商業印刷	11,961	69.5%	9,710	64.2%	+23.2%
出版印刷	5,218	30.3%	5,394	35.6%	-3.3%
その他	39	0.2%	28	0.2%	+39.3%
合計	17,220	100.0%	15,133	100.0%	+13.8%

出版印刷
書籍、週刊及び月刊雑誌、定期刊行物
住宅、求人、車、広告など情報誌



トピックス 売上増減要因

- 商業印刷：前年同期比22.5億円増(23.2%増)

- B判系列であるチラシ、A判系列である通販カタログ・携帯電話取扱説明書等市場ニーズと当社の生産設備にマッチした営業活動による増加

- 特に折込を含む商業印刷物の増加 20.9億円

トピックス

売上増減要因

- 出版印刷：前年同期比1.7億円減(3.3%減)

- 情報出版誌(雇用情報誌、住宅情報誌、中古車情報誌、タウン誌等)及びその他の増加 5.9億円
- 出版印刷物(パソコン雑誌等)の減少 7.7億円

第27期(平成19年3月期)中間決算増益要因1 KYORITSU

・売上高前年同期比	20.7億円増(13.8%増)
-折込を含む商業印刷物の増加 ※1	(20.9億円増)
・売上原価前年同期比	19.6億円増(16.3%増)
-設備増強による固定費の増加(リース料・減価償却費等)	(0.8億円増)
-生産性向上による材料費・燃料費等の増加	(4.4億円増)
-外注費加工費の増加 ※1	(15.1億円増)
・売上総利益前年同期比	1.1億円増(3.7%増)
・販売費及び一般管理費前年同期比	0.01億円増(0.1%増)
・営業利益前年同期比	1.1億円増(8.3%増)

※1:折込を含む商業印刷物の売上高の増加に伴い外注加工費も増加しております。

前期は設備増強いたしましたでしたが、人員の確保、管理体制の不備のため設備増強効果が十分に発揮されませんでした。当期は期初から生産性の向上に努め、第2四半期より前期を上回る生産性の確保ができました。これにより、第2四半期は営業利益が2.2億円(42.8%増)の増益となり、第1四半期の営業利益前年同期比1.1億円(14.2%減)の減益をカバーした上で1.1億円増益となりました。

第27期(平成19年3月期)中間決算増益要因2 KYORITSU

各グループ会社の収益状況

前年同期比営業利益増減内訳:

共立印刷(株)	1.8億円増(16.3%増)
ー営業努力による売上高増による増益(折込を伴う商業印刷物の増加)	1.3億円増
ー工場生産性向上による増益(工場売上総利益の増益)	0.5億円増
	(第1四半期 0.3億円減、第2四半期0.8億円増)

(株)インフォビジョン	0.2億円減(20.8%減)
--------------------	-----------------------

ーDTP化、CTP化によるデジタル化によりプリプレス市場の縮小

・共立印刷向け売上高:前期7.0億円→今期6.3億円

共立製本(株)	0.5億円減(51.5%減)
----------------	-----------------------

ーフリーペーパー、多様な電子媒体の普及等により出版物の不振による単価下落

・共立印刷向け売上高:前期12.9億円→12.0億円

・受注単価:中綴じは横ばい、無線は20%程度下落

グループ営業利益増益合計	1.1億円増(8.3%増)
---------------------	----------------------

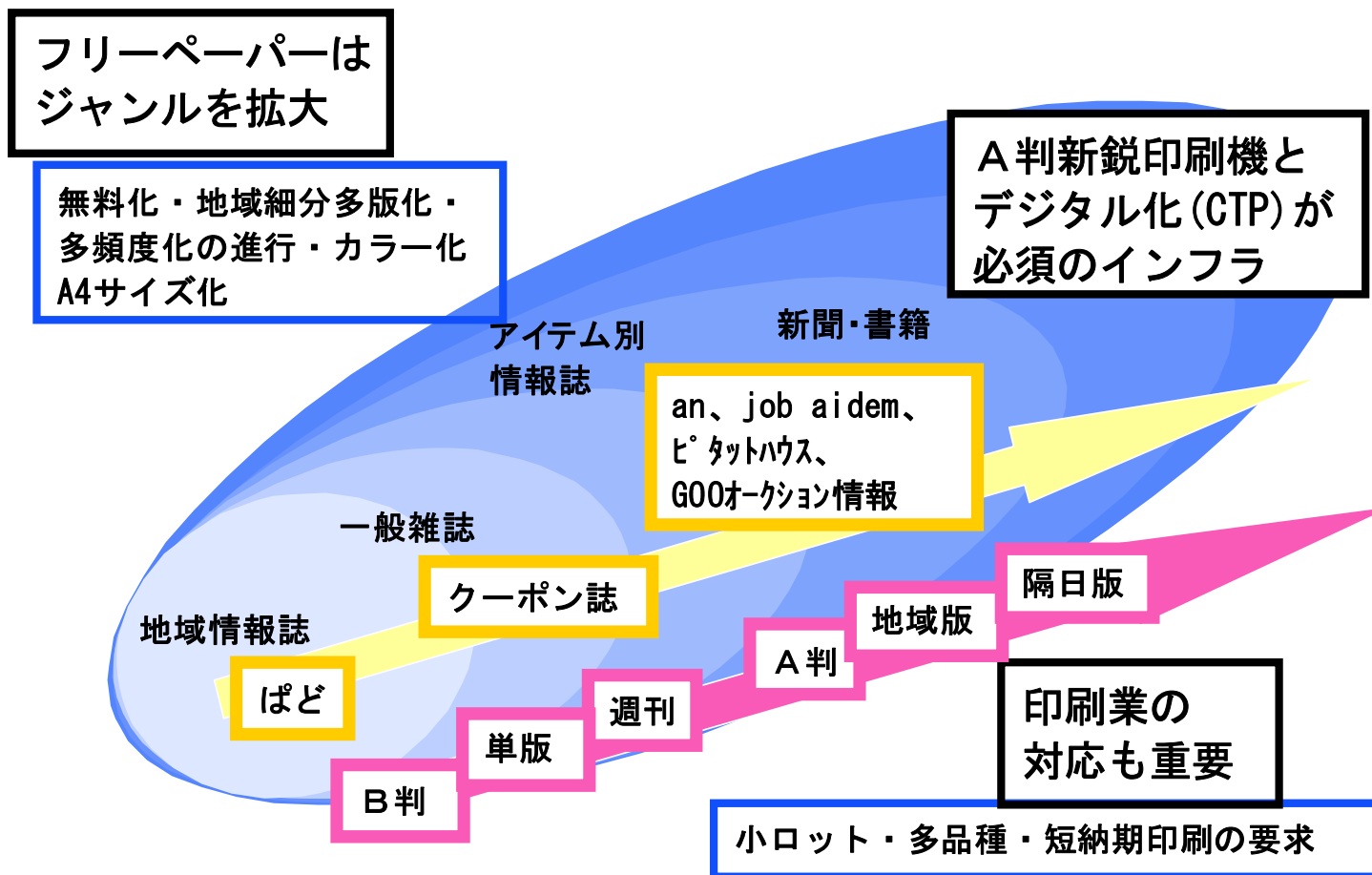
印刷業界の大きな変化の中、当社は印刷・加工・製本の一貫生産体制の充実及び管理体制の充実に努め生産性の向上を目指しております。この結果、第2四半期において印刷工場の生産性の向上が寄与し、工場売上総利益が第2四半期において0.8億円前期を上回りました。また、営業努力による売上高の増加により営業利益は上半期1.3億円前期を上回りました。これらの増益要因により、子会社の不振をカバーし、グループ合計、上半期前年同期比で1.1億円(8.3%)増益となりました。

有利子負債の削減および自己資本比率の改善

(単位:百万円)

	第26期 17/9月期		第26期 18/3月期		第27期 18/9月期	
	流動資産	14,902	48.5%	14,808	48.3%	13,782
固定資産	15,855	51.5%	15,819	51.7%	15,930	53.6%
総資産	30,757	100.0%	30,628	100.0%	29,712	100.0%
流動負債	13,575	44.1%	14,008	45.7%	13,365	45.0%
固定負債	10,289	33.5%	8,998	29.4%	8,466	28.5%
負債合計	23,864	77.6%	23,006	75.1%	21,831	73.5%
株主資本	6,892	22.4%	7,621	24.9%	7,880	26.5%
有利子負債	12,325	40.1%	11,207	36.6%	10,662	35.9%
株主資本当期純利益率	23.1%	—	21.8%	—	20.0%	—
総資産当期純利益率	4.1%	—	4.4%	—	4.9%	—

フリーペーパー化の大きな流れが、印刷会社にも大きな影響を！



営業戦略

- ◆顧客ニーズを吸収し、生産設備とのマッチングを図り、利益最大化を追求

生産戦略

- ◆小ロット、多品種、短納期、高品質、低コストの生産を可能にする生産体制の構築

共立印刷(株):

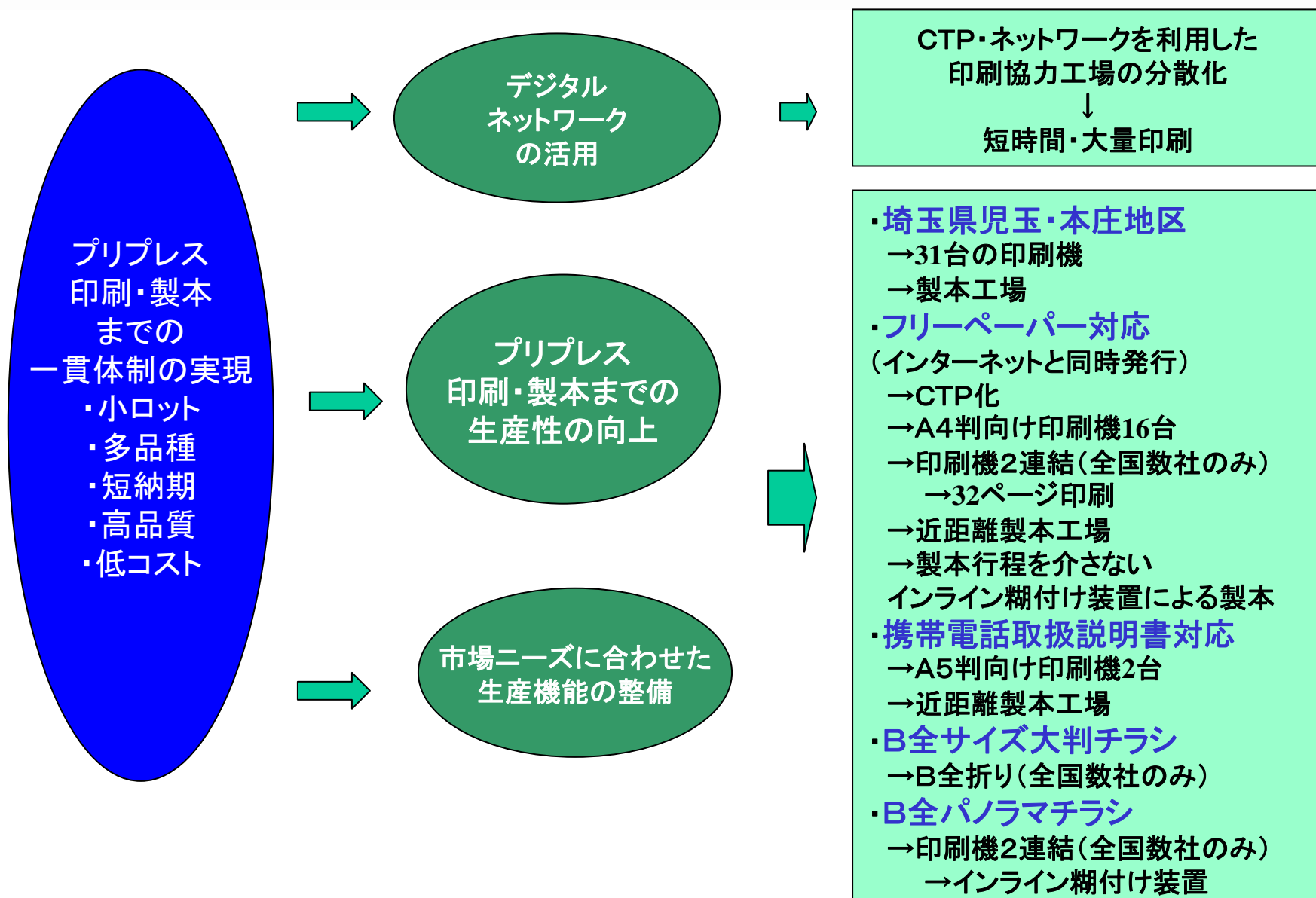
- ◆埼玉県本庄・児玉エリアに輪転機31台を有する印刷工場を配置し、生産の集中化
- ◆市場ニーズに沿った利益最大化を実現する生産体制の整備
- ◆全国展開のネットワークを利用した提携印刷会社への分散化による短納期化対応
- ◆デジタル化に対応した生産体制の構築による短納期、高品質、低コストの実現
- ◆デジタル化に対応した情報システムインフラの拡充

(株)インフォビジョン:

- ◆印刷前工程(プリプレス)のデジタル化による短納期、高品質、低コストの実現

共立製本(株):

- ◆印刷工場のある本庄・児玉エリアに製本工場を配置し生産ラインの集約化による、印刷から製本までの一貫した生産体制を整備し、短納期、低コストの実現



製・販一体化による生産能力のフル稼働を目指し、利益の最大化を図る

【活動戦略】

1～2ヶ月先の受注状況と生産予定を営業と製造で情報共有し、工場稼働率のアップを図る目的で、需要と供給の見通しを行い、受注不足による操業度の低下、過大受注による利益率の低下を防ぎ、利益の最大化を目指す。

【プロジェクトの目的】

〈生産能力のフル稼働化〉

- ・受注の過不足を常に念頭においた営業戦略の展開
- ・個別受注原価を基にした、内製化・外製化の決定
- ・市況及び受注状況を基にした、設備投資計画

〈利益の最大化〉

- ・営業活動先の選定
- ・個別受注原価を基にした、内製化・外製化の決定
- ・市況及び受注状況を基にした、設備投資計画

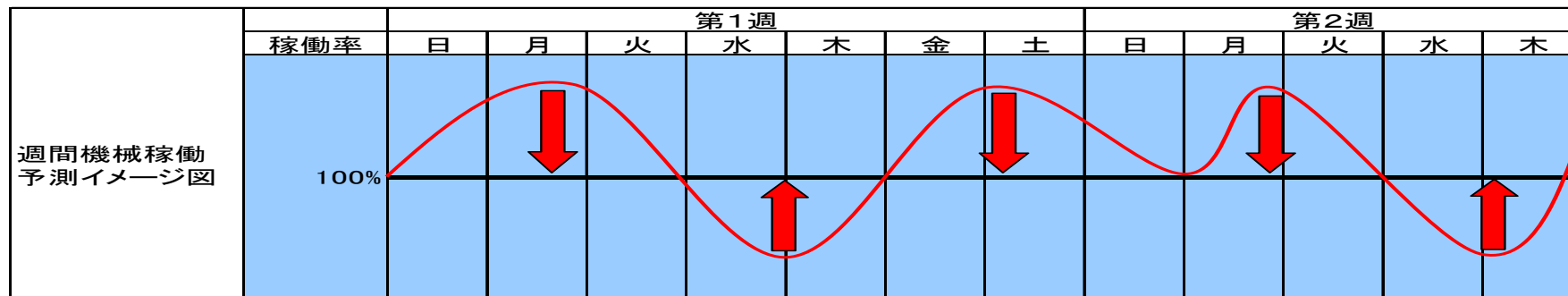
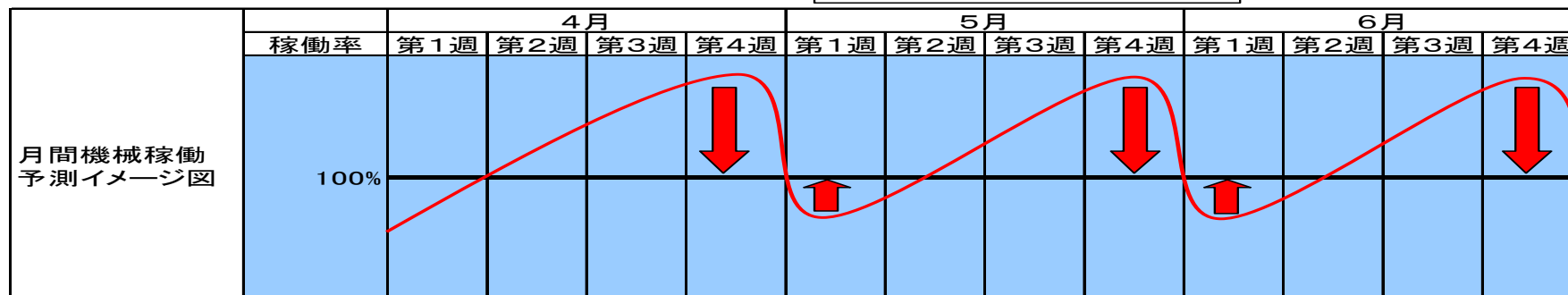
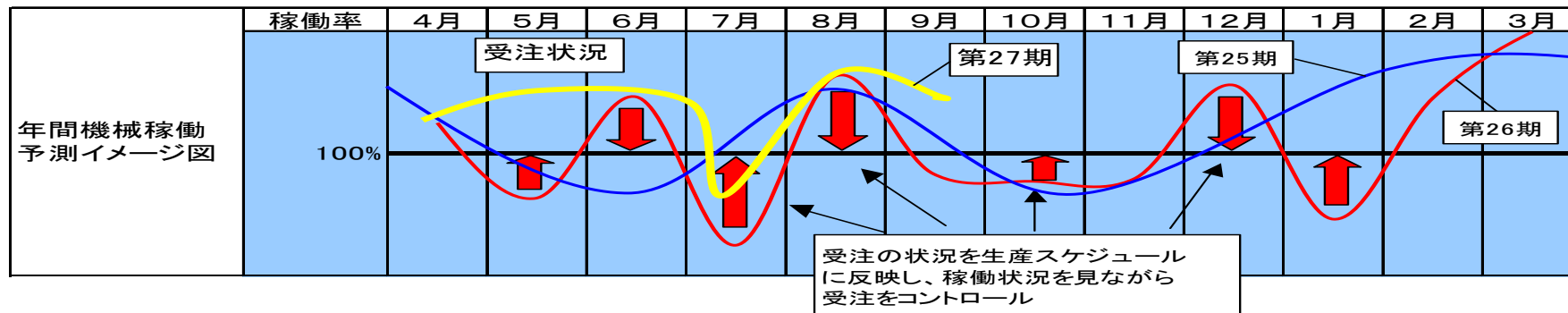


〈経営戦力と営業戦略の共有〉

- ・ビッククライアント依存型から広く主要クライアントの創造を行う。
- ・印刷・製本それぞれの生産機能を最大化できる受注の創造からの利益獲得

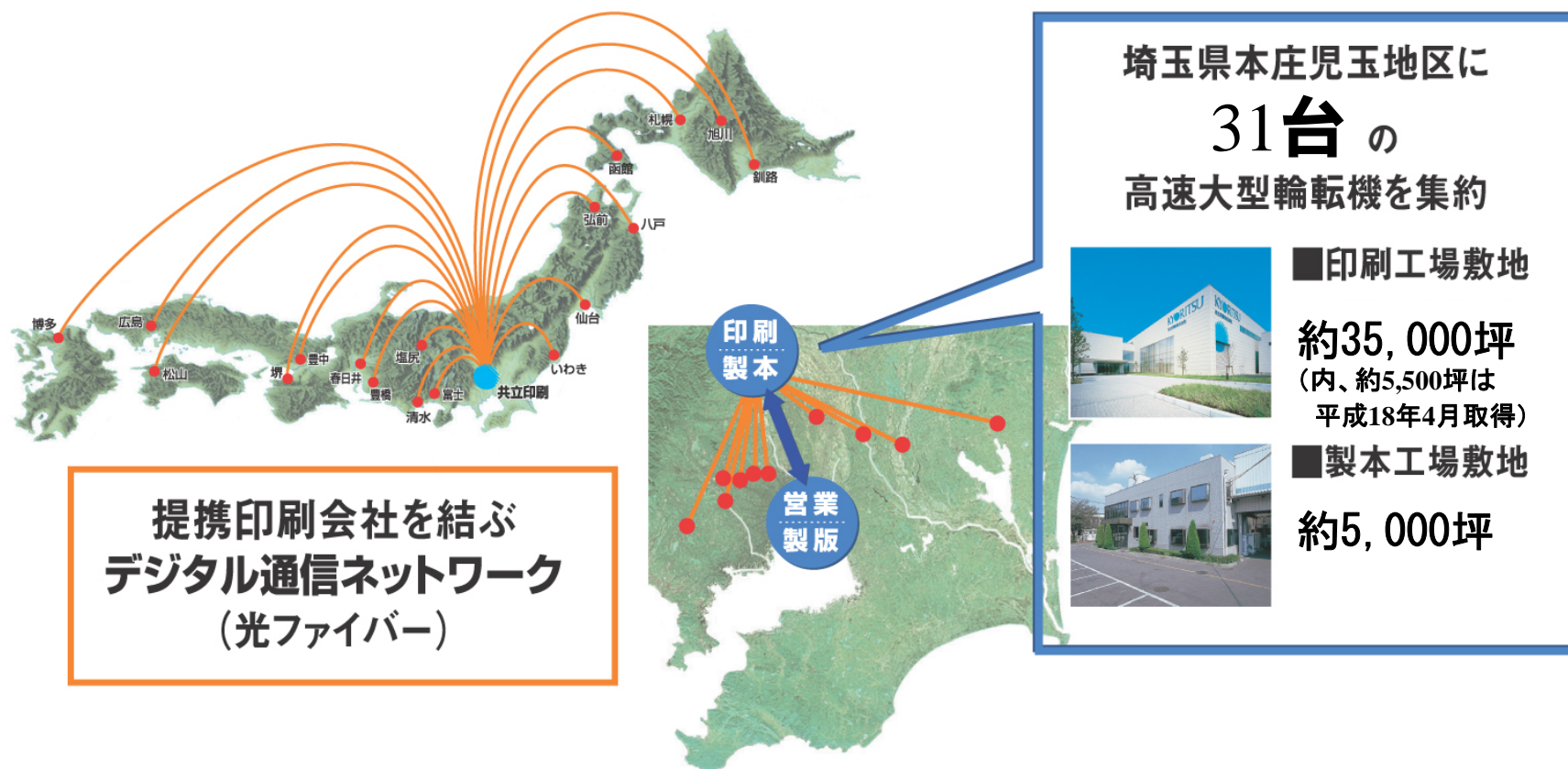
工場稼働プロジェクト2

工場稼働プロジェクト



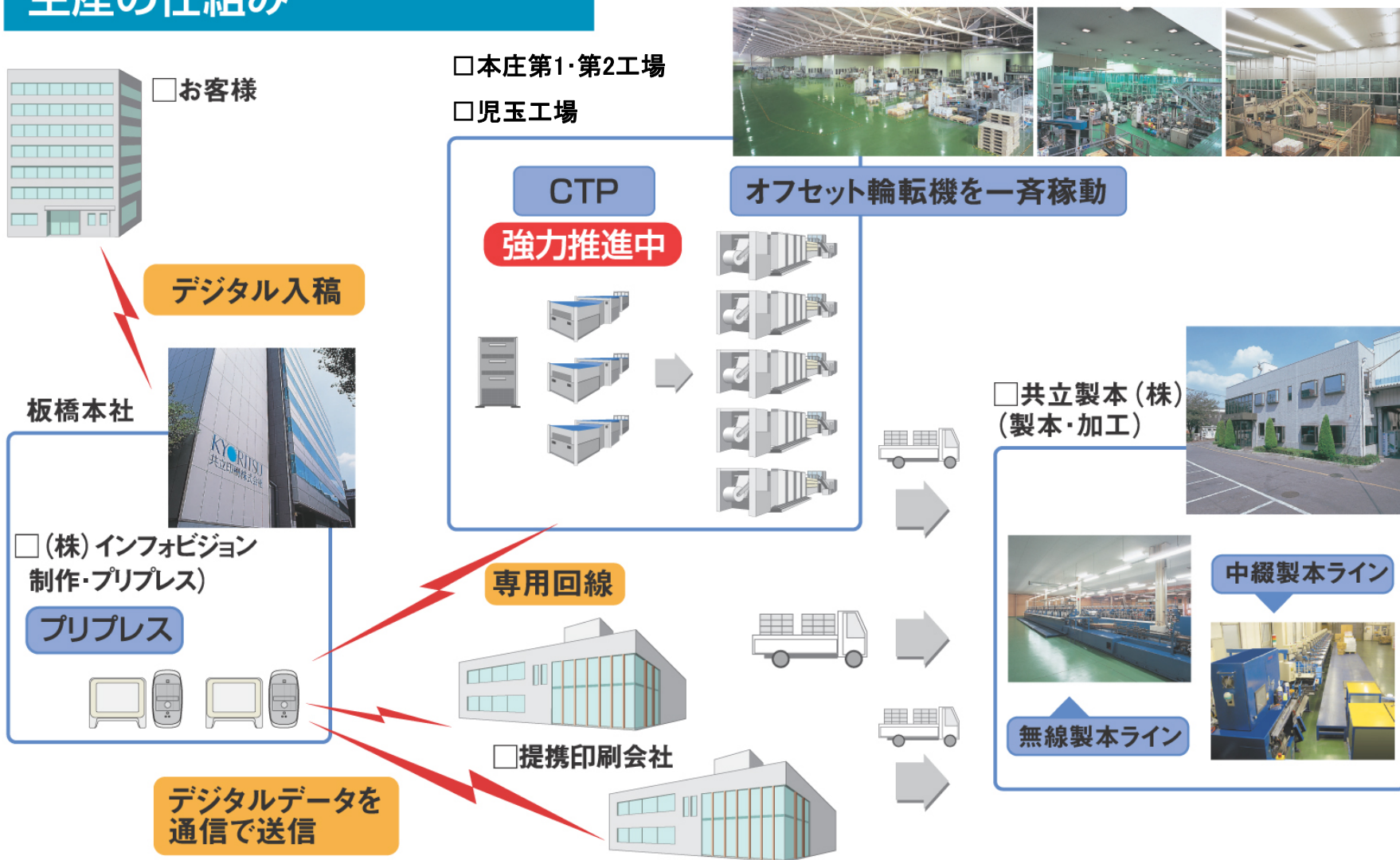
生産設備の集中と分散

- 自社印刷・製本工場を首都圏（埼玉県本庄児玉地区）に集約。
- 提携印刷会社とデジタルネットワークを結び、強力な生産体制を構築。

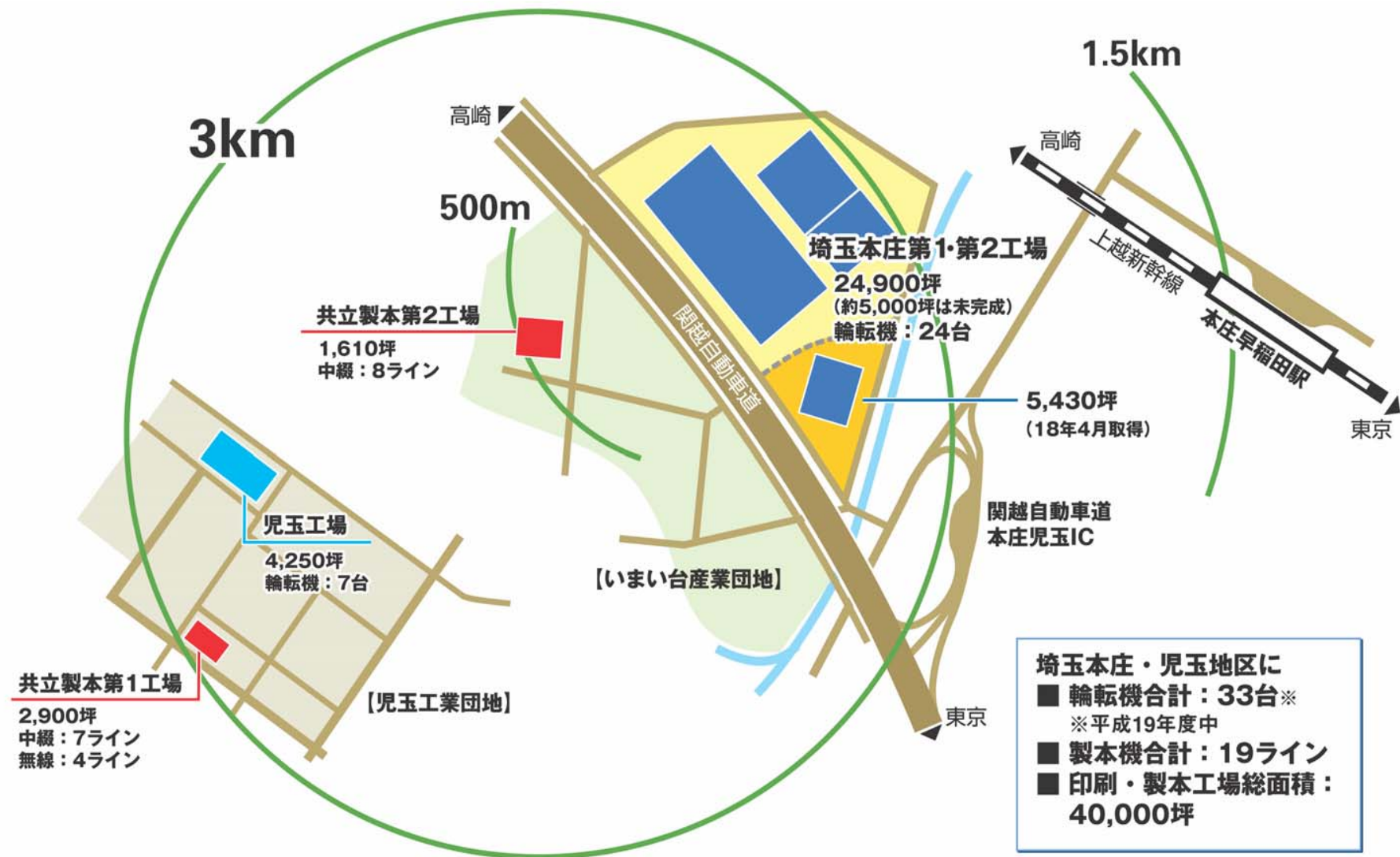


「スピード」による価値の創造

生産の仕組み



紙が入荷→翌日製品出荷可能な工場に KYORITSU



第27期(19年3月期)の業績予想1

	第25期 17/3月期		第26期 18/3月期			第27期 19/3月期(予)		
	金額	%	金額	%	成長率	金額	%	成長率
売上高	30,107	100.0%	31,442	100.0%	4.4%	33,770	100.0%	7.4%
売上総利益	5,703	18.9%	5,971	19.0%	4.7%	-	-	
販管費	3,301	11.0%	3,336	10.6%	1.1%	-	-	
営業利益	2,401	8.0%	2,634	8.4%	9.7%	2,870	8.5%	9.0%
経常利益	1,970	6.5%	2,265	7.2%	15.0%	2,550	7.6%	12.6%
当期純利益	1,097	3.6%	1,371	4.4%	25.0%	1,460	4.3%	6.5%
減価償却費	1,153	3.8%	1,128	3.6%	-2.2%	-	-	
支払利息	414	1.4%	350	1.1%	-15.5%	-	-	
E B I T D A	3,537	11.7%	3,743	11.9%	5.8%	-	-	
設備投資額	421	-	811	-	-	800	-	
一株当純資産	285.85	-	198.82	-	-	-	-	
一株当純利益	65.34	-	36.67	-	-	38.23	-	
配当額	10.00	-	12.00	-	-	12.00	-	
配当性向	15.3%	-	32.7%	-	-	31.4%	-	

平成18年11月7日現在の配当利回り:2.75%

1株当たり情報

	第25期 17/3月期	第26期 18/3月期	第27期 19/3月期(予)
一株当たり純資産	285.85	198.82	-
一株当たり純利益	65.34	36.67	38.23
一株当たり配当額	10.00	12.00	12.00
配当性向	15.3%	32.7%	31.4%
期中平均株式数	16,493,846株	36,564,615株	38,180,000株

主要な取組課題

- ①印刷・製本の生産体制の拡充
- ②デジタルフローの充実
- ③収益向上プロジェクト
- ④品質保証プロジェクト
- ⑤工場稼働プロジェクト
- ⑥工場原価削減プロジェクト

等の活動を製造部門、営業部門及び管理部門が一体となり展開し、営業活動の効率化、品質の向上及び生産効率の改善に積極的に取り組んでまいります。

第27期(平成19年3月期)予想(平成18年8月10日発表)

連結売上高	337.7億円
経常利益	25.5億円
当期純利益	14.6億円

その他

印刷から製本までの一環体制充実のため、平成18年4月に約6億円にて埼玉本庄工場の隣接地に**5500坪の土地**の取得契約を締結いたしました。今後工場の工場増設計画を立案し収益の更なる増益を目指す所存です。

21世紀はスピード時代！

共立印刷は「集中」と「分散」による「スピード」を武器に、
時代の変化に迅速に対応する
印刷メディアにおける
高い専門性と創造性豊かな
企業を目指します。

将来予測について

本資料のうち、業績見通し等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基き算定しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が見通しの数値と大きく異なる結果となりうる事を、ご承知おき下さい。

問い合わせ先： 常務執行役員 財務本部長 小野 道夫

TEL: 03-5248-7801

FAX: 03-5248-5570

E-mail: mono@kyoritsu-printing.co.jp

URL: <http://www.kyoritsu-printing.co.jp/>